

历代科学与思想学术文献

天工开物 神农本草经

凡早稻种，秋初收藏，当年播种，烈日火气在肉，入仓糜中，关闭天

息，则其谷粘带着气（勳农之家偏受此息），明年田有粪肥，土脉宜

烧，东南风助暖，则尽发臭火，火坏苗穗，此一灾也。若种谷晚珠入

糜，或冬至数九天收藏雪水，冰水一复（麦春即不验），清明湿种时

每石以数碗激洒，立解暑气，则任从东南风暖，而此苗清透异常矣

（紫在种肉，反怨鬼神）

凡稻种种时，或水浮数寸，其谷未即沉下，糠皮狂风，堆积一隅

，此二灾也。谨慎风定而后撒，则沉勻成秧矣。

凡谷种生秧之后，榜雀鸟聚食，此三灾也。立标帜扬度偏，则雀

可驱矣。

凡秧沉脚未定，阴雨连绵，则根折过半，此四灾也。遮天特索三

日，则根管生矣。



历代科学与思想学术文献



远方出版社

图书在版编目(CIP)数据

天工开物;神农本草经/华辰编. - 呼和浩特:远方出版社, 2007.5

(历代科学与思想学术文献)

ISBN 978-7-80723-230-8

I. ①天…②神… II. 华… III. ①手工业史-中国-古代
②农业史-中国-古代 IV. R281.2 N092

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 063844 号

历代科学与思想学术文献(天工开物 神农本草经)

主 编:华 辰

责任编辑:王月霞

装帧设计:辉煌时代

出版发行:远方出版社

社 址:呼和浩特市乌兰察布东路 666 号

电 话:0471-4919981(发行部)

邮 编:010010

经 销:新华书店

印 刷:北京市梦宇印务有限公司

开 本:850×1168 1/32

字 数:2552 千字

印 张:111.75

版 次:2007 年 6 月第 1 版

印 次:2007 年 6 月第 1 次印刷

印 数:1—3000 套

标准书号:ISBN 978-7-80723-230-8

定 价:528.00 元(16 册)

远方版图书,版权所有,侵权必究

目 录

天工开物

第一卷	乃粒	(3)
第二卷	乃服	(13)
第三卷	彰施	(28)
第四卷	粹精	(32)
第五卷	作咸	(36)
第六卷	甘嗜	(40)
第七卷	陶埏	(45)
第八卷	冶铸	(52)
第九卷	舟车	(57)
第十卷	锤锻	(65)
第十一卷	燔石	(70)
第十二卷	膏液	(76)
第十三卷	杀青	(80)
第十四卷	五金	(84)
第十五卷	佳兵	(94)
第十六卷	丹青	(101)
第十七卷	曲蘖	(105)

第十八卷 珠 玉····· (108)

神农本草经

神农本草经卷一····· (117)

序 录····· (117)

神农本草经卷二····· (121)

上 品····· (121)

丹 砂····· (121)

云 母····· (121)

玉 泉····· (122)

石钟乳····· (122)

矾 石····· (122)

消 石····· (123)

朴 消····· (123)

滑 石····· (123)

空 青····· (123)

曾 青····· (124)

禹余粮····· (124)

太一余粮····· (124)

白石英····· (125)

紫石英····· (125)

五色石脂····· (125)

菖 蒲····· (126)

菊 花····· (126)

人 参····· (126)

天门冬····· (127)

甘 草	(127)
干地黄	(127)
术	(128)
菟丝子	(128)
牛 膝	(128)
茺蔚子	(129)
女 萎	(129)
防 葵	(129)
麦门冬	(130)
独 活	(130)
车前子	(130)
木 香	(131)
薯 蕷	(131)
薏苡仁	(131)
泽 泻	(132)
远 志	(132)
龙 胆	(132)
细 辛	(133)
石 斛	(133)
巴戟天	(133)
白 英	(134)
白 蒿	(134)
赤 箭	(134)
菴蒿子	(135)
苜蓿子	(135)
薯 实	(135)
赤 芝	(136)
黑 芝	(136)

青 芝	(136)
白 芝	(136)
紫 芝	(136)
卷 柏	(137)
蓝 实	(138)
靡 芜	(138)
黄 连	(138)
络 石	(138)
痰藜子	(139)
黄 芪	(139)
肉苁蓉	(139)
防 风	(140)
蒲 黄	(140)
香 蒲	(140)
续 断	(141)
漏 芦	(141)
天名精	(141)
决明子	(142)
丹 参	(142)
飞 廉	(142)
五味子	(142)
旋 花	(143)
兰 草	(143)
蛇床子	(143)
地肤子	(144)
景 天	(144)
茵陈蒿	(144)
杜 若	(144)

目 录

沙 参	(145)
徐长卿	(145)
云 实	(146)
王不留行	(146)
牡 桂	(146)
菌 桂	(147)
松 脂	(147)
槐 实	(147)
枸 杞	(147)
橘 柚	(148)
柏 实	(148)
茯 苓	(148)
榆 皮	(149)
酸 枣	(149)
干 漆	(149)
蔓荆实	(150)
辛 夷	(150)
杜 仲	(150)
桑上寄生	(151)
女贞实	(151)
蕤 核	(151)
藕实茎	(152)
大 枣	(152)
葡 萄	(152)
蓬 蘽	(153)
鸡头实	(153)
胡 麻	(153)
麻 蕒	(154)

冬葵子	(154)
苋实	(154)
白瓜子	(155)
苦菜	(155)
龙骨	(155)
麝香	(156)
熊脂	(156)
白胶	(156)
阿胶	(157)
石蜜	(157)
蜂子	(158)
蜜蜡	(158)
牡蛎	(158)
龟甲	(159)
桑螵蛸	(159)
神农本草经卷三	(160)
中品	(160)
雄黄	(160)
雌黄	(160)
石硫黄	(161)
水银	(161)
石膏	(161)
磁石	(162)
凝水石	(162)
阳起石	(162)
理石	(163)
长石	(163)

石 胆	(163)
白 青	(164)
扁 青	(164)
肤 青	(164)
干 姜	(164)
菉耳实	(165)
葛 根	(165)
栝楼根	(165)
苦 参	(166)
苾 胡	(166)
芎 劳	(166)
当 归	(167)
麻 黄	(167)
通 草	(167)
芍 药	(168)
蠹 实	(168)
瞿 麦	(168)
元 参	(169)
秦 艽	(169)
百 合	(169)
知 母	(169)
贝 母	(170)
白 芷	(170)
淫羊藿	(170)
黄 芩	(171)
石龙芮	(171)
茅 根	(171)
紫 苑	(172)

紫 草	(172)
茜 根	(172)
败 酱	(172)
白 鲜	(173)
酸 浆	(173)
紫 参	(173)
藁 本	(173)
狗 脊	(174)
草 薺	(174)
白兔藿	(174)
营 实	(175)
白 薇	(175)
薇 衔	(175)
翹 根	(176)
水 萍	(176)
王 瓜	(176)
地 榆	(176)
海 藻	(177)
泽 兰	(177)
防 己	(177)
牡 丹	(178)
款冬花	(178)
石 韦	(178)
马先蒿	(179)
积雪草	(179)
女 菀	(179)
王 孙	(179)
蜀羊泉	(180)

目 录

爵 床	(180)
梔 子	(180)
竹 叶	(180)
藜 木	(181)
吴茱萸	(181)
桑根白皮	(181)
羌 蕘	(182)
枳 实	(182)
厚 朴	(182)
秦 皮	(183)
秦 椒	(183)
山茱萸	(183)
紫 葳	(184)
猪 苓	(184)
白 棘	(184)
木 兰	(185)
五加皮	(185)
卫 矛	(185)
合 欢	(186)
彼 子	(186)
梅 实	(186)
桃核仁	(186)
杏核仁	(187)
蓼 实	(187)
葱 实	(187)
薤	(188)
假 苏	(188)
水 苏	(188)

水 蘄	(188)
发 髮	(189)
白马茎	(189)
鹿 茸	(189)
牛角觶	(190)
羖羊角	(190)
牡狗阴茎	(190)
羚羊角	(191)
犀 角	(191)
牛 黄	(191)
豚 卵	(192)
麋 脂	(192)
丹雄鸡	(192)
雁 肪	(193)
鳖 甲	(193)
鮃鱼甲	(193)
蠶 鱼	(194)
鲤鱼胆	(194)
乌贼鱼骨	(194)
海 蛤	(195)
文 蛤	(195)
石龙子	(195)
露蜂房	(195)
蚱 蝉	(196)
白殭蚕	(196)

天工开物

第一卷 乃 粒

宋子曰：上古神农氏若存若亡，然味其徽号，两言至今存矣。

生人不能久生；而五谷生之；五谷不能自生，而生人生之。土脉历时代而异，种性随水土而分。不然，神农去陶唐，粒食已千年矣。耒耜之利，以教天下，岂有隐焉？而纷纷嘉种，必待后稷详明，其故何也？

纨绔之子，以赭衣视笠蓑；经生之家，以农夫为诟詈。晨炊晚饷，知其味而忘其源者众矣！

夫先农而系之以神，岂人力之所为哉！

总 名

凡谷无定名。百谷，指成数言。五谷，则麻、菽、麦、稷、黍，独遗稻者，以著书圣贤起自西北也。

今天下育民人者，稻居什七，而来、牟、黍、稷居什三。麻、菽二者，功用已全入蔬、饵、膏、饌之中，而犹系之谷者，从其朔也。

稻

凡稻种最多。不粘者，禾曰秈，米曰粳；粘者，禾曰秚，米曰糯（南方无粘黍，酒皆糯米所为）。质本粳而晚收带粘（俗名

婺源光之类)，不可为酒，只可为粥者，又一种性也。

凡稻谷形有长芒、短芒（江南名长芒者曰浏阳早，短芒者曰吉安早），长粒、尖粒，圆顶、扁面不一。其中米色有雪白、牙黄、大赤、半紫、杂黑不一。

湿种之期，最早者春分以前，名为社种（遇天寒有冻死不生者），最迟者后于清明。凡播种，先以稻麦稿包浸数日，俟其生芽，撒于田中，生出寸许，其名曰秧。秧生三十日，即拔起分栽。若田亩逢早干、水溢，不可插秧。秧过期，老而长节，即栽于亩中，生谷数粒，结果而已。凡秧田一亩所生秧，供移栽二十五亩。

凡〔凡〕秧既分栽后，早者七十日即收获（粳有救公饥、喉下急，糯有金包银之类。方语百千，不可殫述），最迟者历夏及冬二百日方收获。其冬季播种，仲夏即收者，则广南之稻，地无霜雪故也。

凡稻旬日失水，即愁旱干。夏种冬收之谷，必山间源水不绝之亩，其谷种亦耐久，其土脉亦寒，不催苗也。湖滨之田，待夏潦已过，六月方栽者，其秧立夏播种，撒藏高亩之上，以待时也。

南方平原田多一岁两栽两获者。其再栽秧，俗名晚糯，非粳类也。六月刈初禾，耕治老稿田，插再生秧。其秧清明时已偕早秧撒布。早秧一日无水即死，此秧历四五两月，任从烈日曝干无忧。此一异也。凡再植稻，遇秋多晴，则汲灌与稻相终始。农家勤苦，为春酒之需也。

凡稻旬日失水，则死期至，幻出旱稻一种，粳而不粘者，即高山可插，又一异也。

香稻一种，取其芳气，以供贵人，收实甚少，滋益全无，不足尚也。